

【皮膚科】

皮膚がんや頭部血管肉腫などの悪性腫瘍に対する化学療法や手術を行っています。皮膚がんは、進行が早く、終末期に移行することもありホスピスへの転院や在宅調整を行っています。難治性潰瘍や天疱瘡、アレルギー性皮膚炎などの皮膚疾患には軟膏を用いて治療しています。

医師による
軟膏処置を
毎日行っています。
(傷の状態により異
なります)

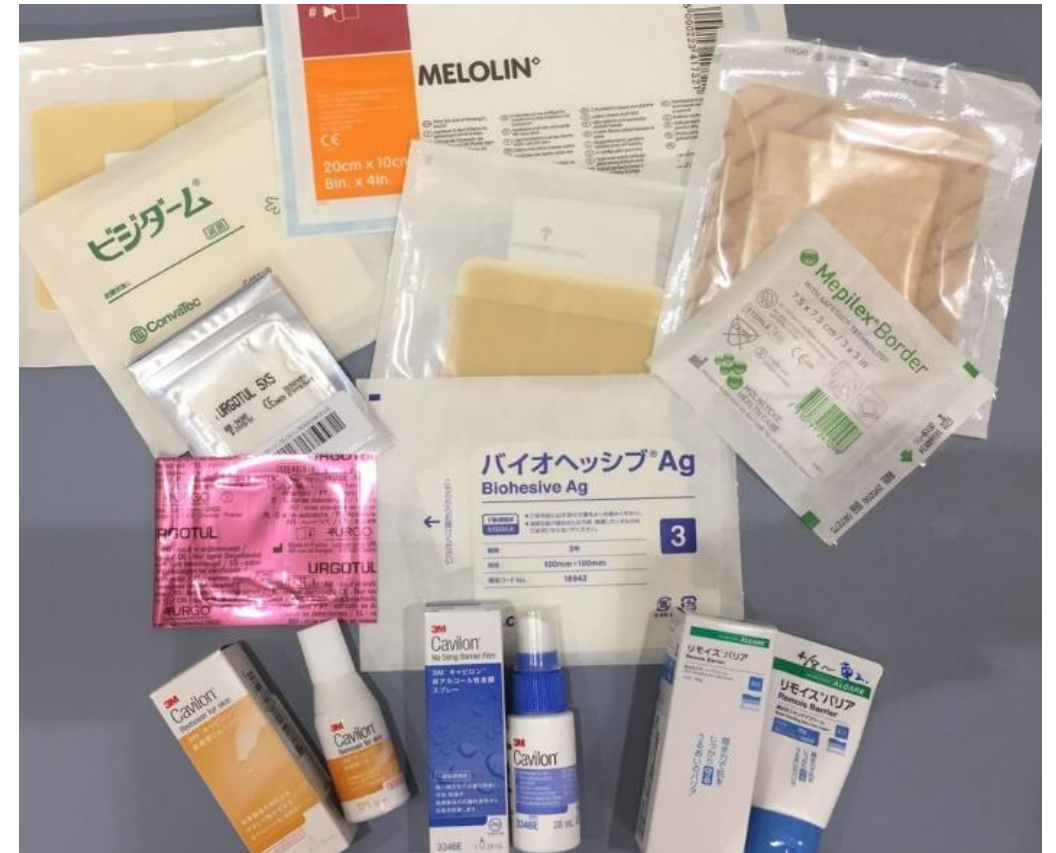
看護師も
処置介助を
行います。



※患者さんの許可を得て撮影しています

皮膚科 処置について

皮膚科・形成外科では、
傷の状態を毎日観察し状態
に応じて適切な被覆剤を
使用しています。



処置室はナースステー
ション横にあり、主に皮
膚科・形成外科で使用し
ています。傷を流水で流
したり、処置中にも洗え
るよう、簡易のシャワー
を設けています。



オプジーボ[®]とは？

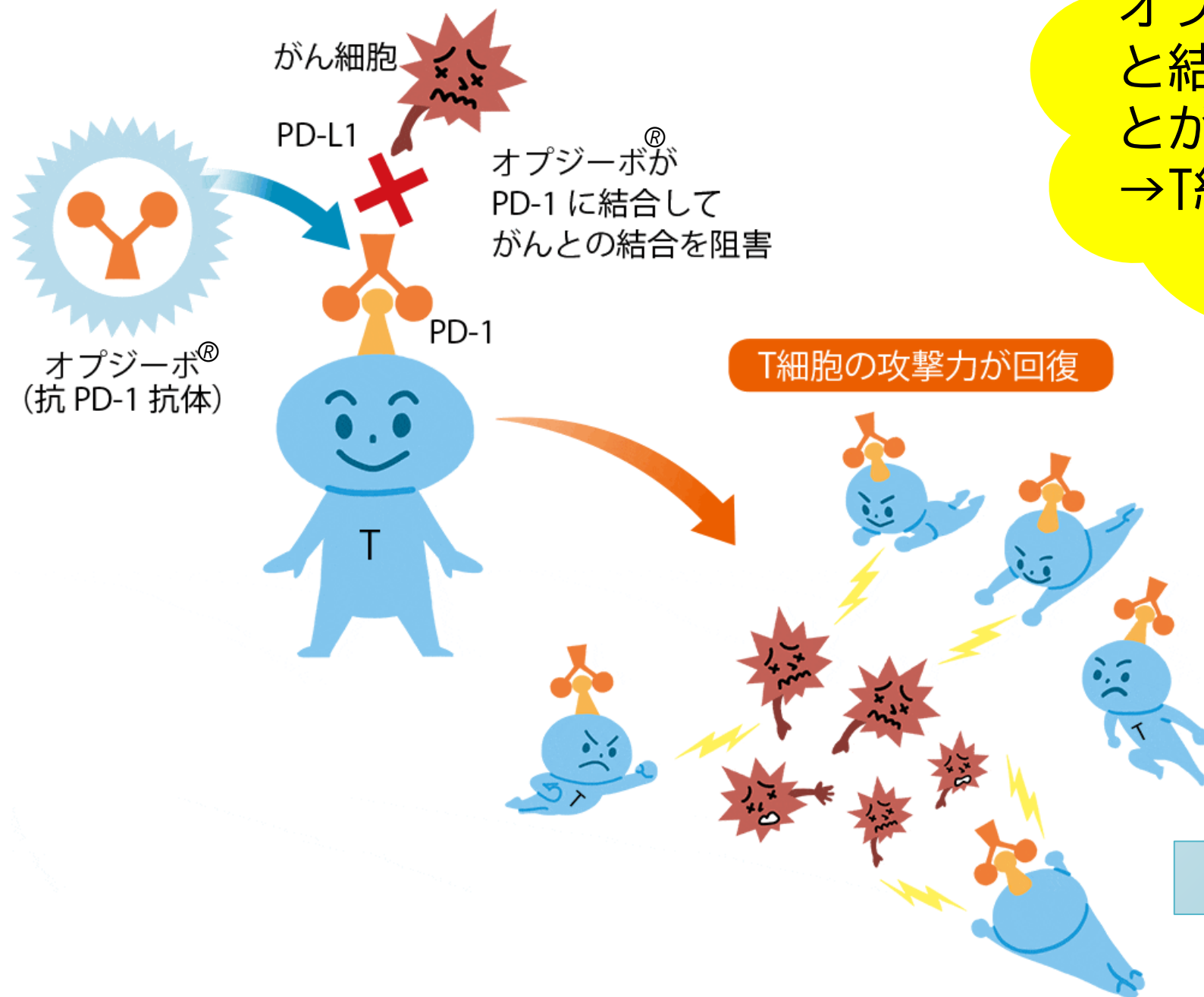
私達がもともと持っている免疫の力を回復させることでがんへの攻撃力を高める、

これまでとは異なる
メカニズムに基づく
“がん免疫療法”の
治療薬です。



出典：小野薬品HP_オプジーボ[®](一般名：ニボルマブ)に関する基本情報より

オプジーボ[®]の作用



オプジーボ[®]がT細胞のPD-1
と結合することにより、PD-1
とがんとの結合を阻害！
→T細胞の攻撃力が回復

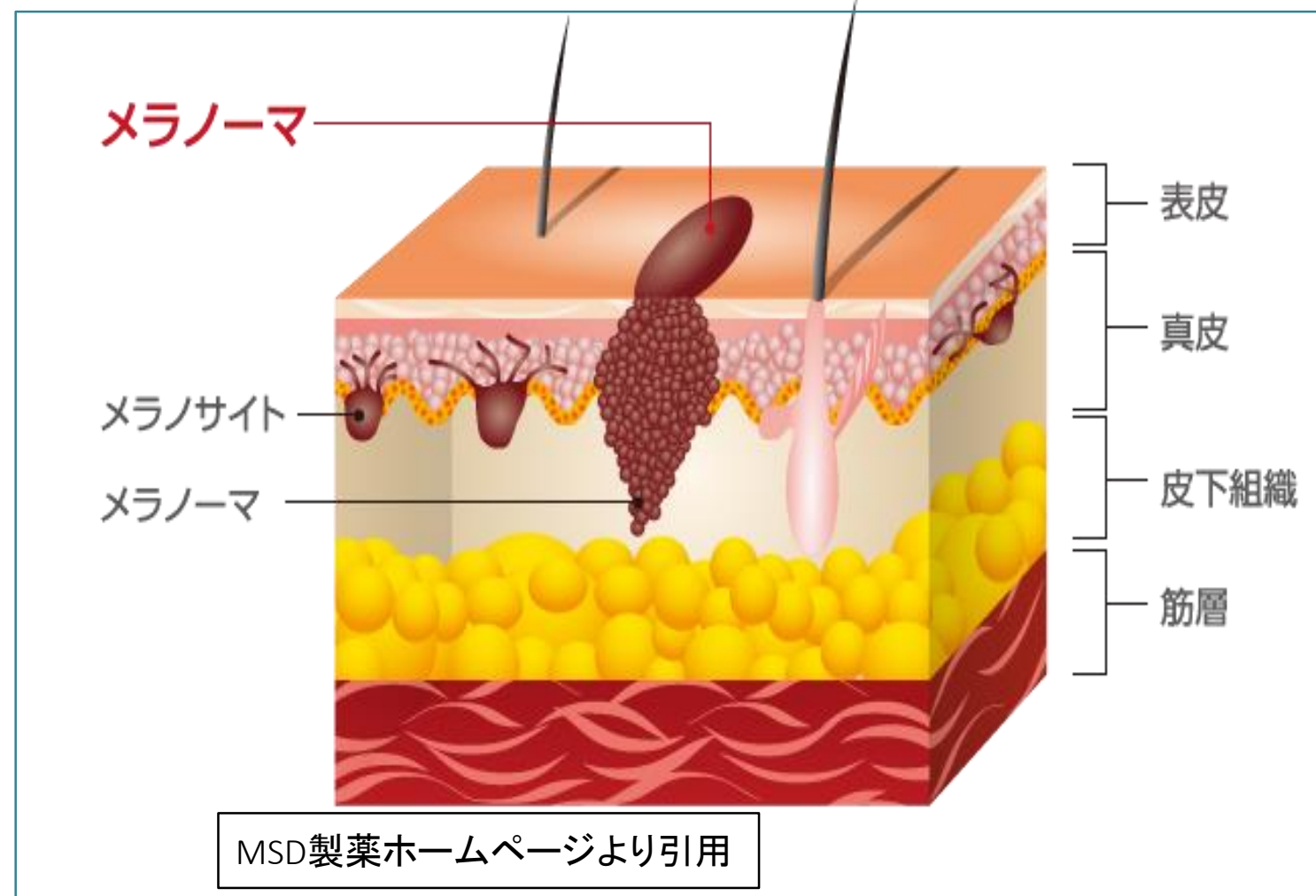
小野薬品工業ホームページより引用

皮膚科では悪性黒色腫に オプジーボ[®]を使用

悪性黒色腫：皮膚がんのうち、皮膚のメラニンという色素を作る色素細胞（メラノサイト）やほくろの細胞（母斑細胞）ががん化したもの

【治療】

手術が主体となる。
手術が難しい場合や他の場所にがんが広がっている場合は薬物療法が検討される。



【形成外科】

形成外科では、乳房再建術や熱傷、褥瘡(床ずれ)、下肢静脈瘤、眼瞼下垂症、先天性疾患である口唇口蓋裂や短趾症、母斑などの手術を行っています。手術後の全身麻酔管理や、ボディイメージの変化に伴う精神的ケアが重要となります。チームメンバーで協力して精神的ケアを行っています。

(画像 3Mジャパンヘルスケアカンパニー ホームページ引用)

VAC療法



パートナーの看護師と薬剤・流量などを確認し患者さんに安全に投与できるよう準備します。1年目看護師は先輩と指示簿を確認します。



熱傷ベッドについて

熱傷（やけど）で皮膚が弱く、全身に痛みがあり動けない患者さんや麻痺などにより身体を動かさない患者さんが褥瘡(床ずれ)予防のために使用するベッドです。

ベッドの下から上方向に空気のかでビーズを流動させることで、身体が水に浮いているような環境を作り皮膚が体重で圧迫されるのを和らげることができます。

(ウォーターベッドに近く、浮いている感じのため酔ってしまう患者さんが時々います)



【整形外科】

整形外科では、主に変形膝関節症に対して人工膝関節置換術(TKA)や脛骨骨切り術(HTO)の手術や指関節形成術を行っています。TKAやHTOの適応は年齢・患者のADL・関節の変形度合によって変わってきます。

術後は、足背動脈を触知し動脈損傷の有無や、足趾の背屈を確認し神経損傷が無いかをこまめに看護師でチェックしていきます。

術後から翌日まで創部をアイシングして創部の腫脹・疼痛を緩和します。



手術当日は床上安静、術翌日に看護師・理学療法士が付き添って離床します。
人工膝関節置換術は術翌日から脛骨骨切り術は術後1週間後からCPMを実施します。
CPMを行うことで関節の可動域を効果的に拡大できます。
(Continuous Passive Motion:持続的他動運動装置)



患者の疼痛に合わせて徐々に角度を上げていきます。

※患者さんの許可を得て撮影しています

【腎臓内科】

IgA腎症に対するステロイドパルス療法や腎不全の患者さんの薬剤調整を行います。

また、腎不全と診断され、透析が必要になった患者さんに対してシャント造設術を行います。シャント造設術では動脈と静脈をつなぎ合わせて血流量の多い血管を作ります。

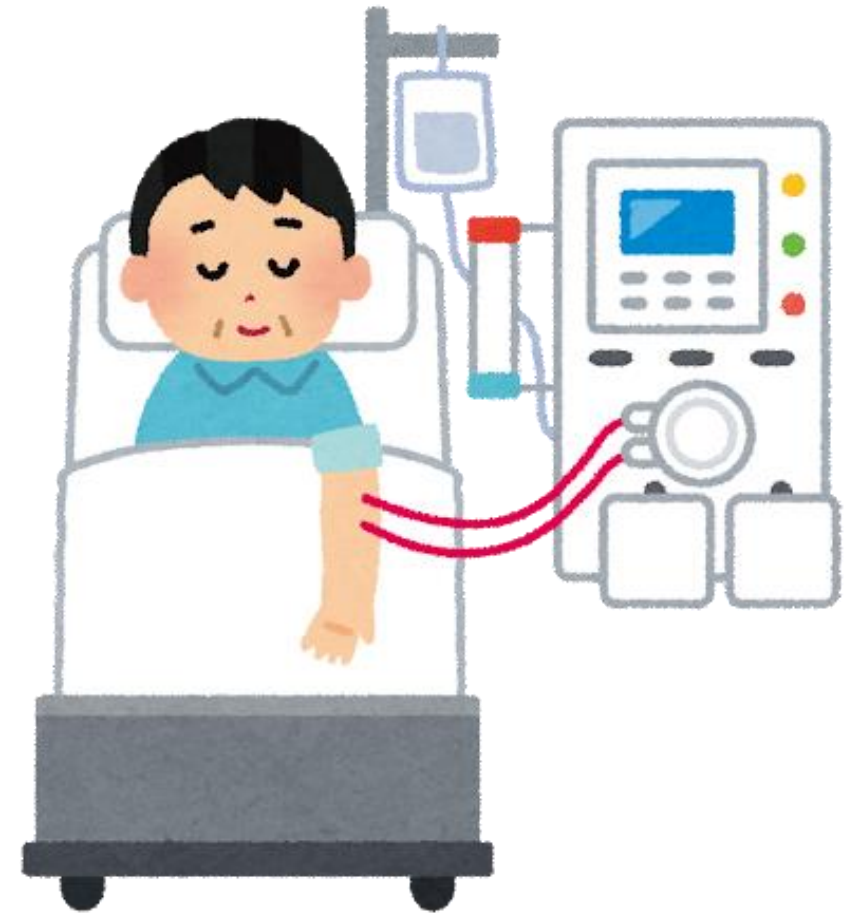
術後シャントの閉塞・感染・出血がないか観察します。

術翌日から抜糸まで毎日消毒・絆創膏(ロイコメド)の張り替えが必要で、患者さんに処置指導します。



※患者さんの許可を得て撮影しています

術後3日目からシャントの発達を促すために掌握運動を患者さんに指導します。
ゴムボールを握って、シャントの血管を発達させ、太くて詰まりにくい血管にしていきます。



※患者さんの許可を得て撮影しています

職員紹介

●南二さん

●入職2年目、南2階

●主な仕事内容

- ・ラウンド(検温・点滴管理・創部状態の観察)
- ・保清(清拭・洗髪・陰部洗浄・介助SW)
- ・化学療法時の点滴投与・VS測定・モニター管理
- ・手術(術前オリエンテーション・手術出し・術後の管理)
- ・処置介助と処置指導 ・入院、退院業務



包交車



朝のラウンド風景

南二さんのある1日

- 08:15 ● 夜勤帯からの申し送り
- 09:00 ● 病棟業務(検温、保清など)
- 12:30 ● 昼休憩
- 13:30 ● 昼のカンファレンス(看護計画など)
- 17:00 ● 退勤
- 19:00 ● 帰宅、炊事、夕食
- 23:00 ● 就寝

仕事をする上で大切にしていること

効率よく業務を行うために優先順位を考えて1日のスケジュールを立てています。また、パートナーシップナーシングシステム(PNS)を導入しているため、先輩とコミュニケーションをとりながら、円滑に仕事が進むように意識しています。

さまざまな疾病、社会的背景を持った患者さんがいるため、それぞれに合った看護を実施するよう心がけ、丁寧に接することを大切にしています。

1つのミスが患者さんの生命に関わる危険を生む可能性があるため、ダブルチェックや多職種との連携により、安全に業務を行えるよう緊張感を持って日々働いています。

メッセージ

南2階は複数の診療科が入っているため、さまざまな疾患の患者さんを担当し、日々勉強を積み重ねながらケアをしています。

また、明るく和気あいあいとした楽しい病棟で、フレンドリーな先輩が多く、わからないことは質問しやすい環境です。忙しい時もペア間、チーム間で協力して看護を実践しています。

命に関わる仕事のため、大変なこともあります。やりがいのある仕事だと思います。

これから看護師になれる皆さん、ぜひ私たちと一緒に働きましょう。